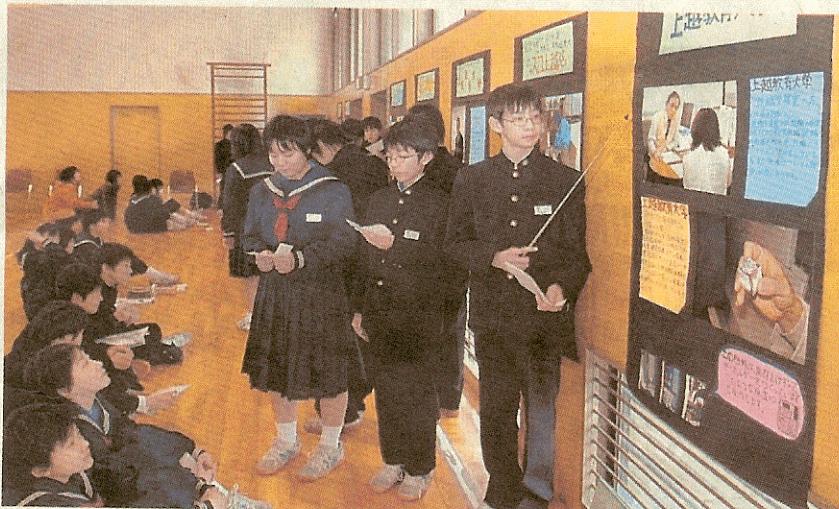


柿崎中

働く姿へまなざし熱く

「THE仕事」取材成果を発表



かれた。

上越市柿崎区の柿崎中学校の一年生が十五日、働く人の姿を取材した成果をポスターにして発表

に職業への意識を高めた。

てもうのが狙い。指導

は同校と上越教育大学が連携し、互いの研究や交流の場としても企画され

た。

三百二十人を前に、キャリアアドバイザーの土井恵子さん(上越市)が、

上越地域の高校に通い、来春卒業する二年生

の成果をボスターにして写真やインタビューの取材を通じて、生徒たち

の意図を表現することによって、生徒たちの意識を高めようとした。この授業は仕事現場の

が職業観を身に付け、仕事に対して高い意識を養うための就職セミナー(上越雇用促進協議会など主催)が十五日、上越市のホテルで開かれた。

人としてのコミュニケーションの大切さについて講演。企業の求める人材について「あいさつやマナーがしっかりとでき、自分

で考へて行動できる人」と、生徒が具体的にイメージできるように丁寧に説明した。

上越高校生に就職セミナー

あいさつが第一歩

今回の重点は写真で思

いを表現すること。二月

に新潟日報の写真記者を

崎区の柿崎中学校

生徒たちは手分けして、市内の公共機関や商店街など十三カ所を取材し

た。

会場には二十班百一人

の成果をボスターにして展示。取材先の陸上自衛隊高田駐屯地の隊員や父母たちも招待した。生徒たちは洗練された構図になつた写真の力作を前に、「お客様の笑顔が励みになる」と聞いて感心した。

仕事の現場を取材したボ

スターを前に、成果を発表する1年生!! 上越市柿

の成果をボスターにして展示。取材先の陸上自衛隊高田駐屯地の隊員や父母たちも招待した。生徒たちは洗練された構図になつた写真の力作を前に、「お客様の笑顔が励みになる」と聞いて感心した。

た」「自分の将来に生かしたい」と仕事への思いを発表した。授業の成果はA4判二十四の写真集「THE仕事ギャラリー」として、生徒や取材先に配布す

